

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390300048		
法人名	社会福祉法人 鶯園		
事業所名	グループホーム 津山 (南館)		
所在地	岡山県津山市小田中138-1		
自己評価作成日	平成 31 年 2 月 22 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=3390300048-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=3390300048-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	平成 31 年 3 月 12 日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達のホームの特徴として、利用者様9名と職員(5名)全員で1か月に1回外出行事を行っています。当番の職員は四季折々の風景や地域の行事を見ていただく 又美味しい物を食べていただく頭をひねって計画を立てております。春は桜・牡丹・あじさい、夏はお涼み、秋はだんじり祭り、冬は外出難しい為、ホームでクリスマス、お正月等の行事を楽しんでおります。そして、一番大きな行事として、南北合同の敬老会です。ご家族全員参加していただき、長寿の祝い、お食事会、催し物として踊りやゲーム、歌を行い利用者様とご家族とのふれあいを通して笑顔を見せていただける事が、職員にとって喜びであり、仕事への力をもらっております。このほかにもボランティアの方達(語りホウの皆様、小・中・高・大学生)との交流も利用者様にとって元気の源のように感じます。ホームの生活が少しでも楽しいものになるよう職員一同頑張っております。  
ぜひグループホーム津山へお越し下さいませ

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

玄関を開けると温かい雰囲気の中、季節飾りや行事写真などが出迎えてくれており、心が和む生活空間となっている。また、不快な臭いも無く清潔感があり職員も明るくて笑顔が多く、利用者が生き生きとメリハリのある生活が送れるように支援している。そして、ほどいた着物を再利用してお雑様の服を作ったり、テーブルクロスにするなど、個々の残存機能を生かしながら各利用者の生活習慣に合わせて支援することで、作品意欲の向上や自信に繋がっている。各居室の入り口の壁面にはプッシュ式のライトが付けられており、避難訓練の際、点灯の有無で避難できたかどうか確認できる様に工夫している。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホールに掲げた理念の通り家庭的で健康に、そしてご家族との良きパイプ役で、皆様が安心して過ごせるようにと日頃のケアを行っています	いつでも職員が確認できる様、事務所・玄関・ホールに理念を掲示している。また、ユニットごとに行う会議の中で、振り返ったり触れたりしながら、全職員で共有し実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの幼稚園、小学校、中学校、高校、美作大学の交流があり、ボランティアの受け入れ、地域のお祭りにも参加しました。季節ごと神社にも出かけ地域の皆様と交流しています	語りや踊りのボランティアが来たり、幼稚園や小学校の園児や子供たちと触れ合ったり、中学生の職場体験や書道パフォーマンスを受け入れたりするなど、地域と密に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	避難訓練に参加される地域の方や訪問して下さる方、お出かけ時に地域交流をする中で理解していただくよう努めています。北小学校6年生が認知症の授業で訪問して体験されています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議では市役所、地域の方、ご家族様に来ていただき、日頃の様子をDVDでわかりやすく伝え、課題について話し合っています。結果を職員に報告、検討を行いサービスの向上に活かしています。	2ヶ月に1回、市役所・町内会長・民生委員・保育園の園長・家族等が参加して、行事案内や地域情報等について話し合っている。出た意見は、敷地入口の砂利舗装や風呂の温風機設置等に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営会議に出席していただき、日頃の様子を伝えたり、地域の情報を教えていただき役立っています。	各ユニットの管理者が中心となり、市と連携を図っている。更新時にはその都度出向き、取り組み状況等を伝える。また、市主催の研修会や勉強会には積極的に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の表情や行動に常に気を配り、早めに対応できるようにしています。不安や困惑に対して、安心できる声かけに努めています。施設内外の研修に参加し正しい理解に努めています。困難事例時身体拘束をしないで危険回避できるよう職員全員で話し合い取り組んでいます	身体拘束に関わるマニュアルを整備し、月1回、スタッフ会議の中で勉強会を実施している。職員間で注意しながら、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症を正しく理解しケアに努めています。利用者一人ひとりの状況を把握し職員間で共有しストレスのない環境をめざしています。高齢者虐待防止研修会にも毎年参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についての研修に参加し、知識の向上、理解に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書、重要事項説明書の内容を理解、納得していただけるよう説明し、同意していただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています。面会時又は電話連絡時、運営会議の場で意見要望を尋ね、ミーティングにて話し合い、反映させています。	日常会話や家族面会、運営推進会議等を通じて、意見や要望を聞き取っている。出た意見等は、敷地入口の砂利舗装などに反映している。また、ミーティングで話し合い、職員間で共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送り時やスタッフ会議に於いて、意見、提案を聞き、話し合いの上、反映させています。	面談は特に行っていないが、管理者と気軽に話せる関係が築けている。また、休みの希望等は申し送りノートで共有し、本部に伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の会議にて、各事業所の状況を把握し、又随時の報・連・相にて対応されています。グループホームでは、楽しい職場づくりに努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外の研修い参加し、スタッフ会議の場で施設内研修を行っています。職員、個々の力量を把握し、資質の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に参加し、交流すると共に情報交換し、資質の向上を目指しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所面接時、生活状態、生活歴を把握し、職員で情報を共有するようにしています。職員一人ひとりがご本人と話す時間を作り傾聴し信頼関係を築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	抱えている問題、困っていることを聞き、どのようにケアしていくことがご本人、ご家族にとって良いかをご家族とゆっくり話をしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様にとって一番良いと思われる方法を共に考え、情報提供しています。この方のニーズに合っていないと判断される場合は、系列の他施設を紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの尊厳を守り、活き活きと暮らせる環境作りに努め、利用者と一緒に掃除や洗濯干し、食事作りや行事をして楽しく過ごすようにしています。笑顔がでるよう感謝の言葉を浴えています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族との関係が希薄にならないように、行事に参加していただいたり、誕生会と一緒に祝いするようにしています。良きパイプ役になれるように努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や、友人、知人が面会しやすいような雰囲気作り、笑顔で対応するように心掛けています。娘さんと食事やショッピングに出掛けられたり、弟さんと食事に出掛けられています。	家族と一緒に馴染みの美容院や行きつけの食事処に出かけたり、外出行事の際に自宅近くをドライブしたりするなど、馴染みの関係が途切れない様に支援している。また、近所の友人や幼馴染等が来訪した時はゆっくりと話が出来る機会を作っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士のかかわりを見守りながら、悪い雰囲気を察したときは職員が間で取り持つようにしています。安心して過ごせるよう配慮しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後に入所されていた頃の写真を差し上げたり、機会があるときや、必要に応じてご様子を聞いたり、入所されていた頃の様子を伝えるようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人らしさを暮らしの中で発揮する力を引き出し、関わっていくようにしています。職員間で情報を共有し支援していけるように努めています。	日常生活の中で声をかけたり、個別対応時に話を聞く時間を設けたりしながら、希望や意向を把握している。また、家族から得た情報なども参考にしながら利用者本位に検討している。困難な場合は、表情やしぐさ等から把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所面接時、生活状態、生活歴を把握するよう努め、ご家族の面会時に話の中で聞いた内容を職員全員で共有しケアに生かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメント、カンファレンス、毎日の記録や、職員同士の情報交換で一人一人の状況の把握に努め支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族への近況報告を充実させ、ご本人、家族の意向を確認し、スタッフ会議でアセスメント、モニタリング情報を共有しカンファレンス後、介護計画を作成しています。必要に応じてDrなどの専門家の意見も聞いています。	スタッフ会議の中で個別にカンファレンスを行い、家族や主治医の意見も取り入れながら、ケアプランを作成している。また、半年に一回、担当職員がモニタリングを行い、変化があればその都度、見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子の記録と、バイタル、食事量、レク参加状況、入浴等の記録とプランに対しての実績、職員間のノートを活用し、介護計画の見直しや日々のケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとり違った能力の方がみんな笑顔で毎日過ごせるよう物作り、食事やおやつ作り、行事など充実させるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	八幡神社のお祭りや初詣、地域のお祭り、花見や紅葉狩りなど豊かな表情がみられます。元気にお出かけできるよう毎日歩行練習しています。「お出かけすることで健康寿命を延ばす」を目標に楽しんでお出かけています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が月2回往診に來られ、健康管理していただいています。本人、家族とも安心しておられます。又、他科受診時にはGHと主治医より紹介状にてスムーズに連携出来ています。	かかりつけ医の継続は、家族の希望に合わせて対応している。協力医の他、訪問看護も受け入れており、24時間体制のもと、適切な医療を提供している。専門医への受診は基本家族対応としているが、職員が付き添うこともある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週に1回の訪問看護師來所時に、個々の状況を報告相談し、健康管理しています。利用者の思いを聴いたり、爪切り、耳のケアなどもされています。必要に応じ主治医、ご家族に連絡し早期対応に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は利用者の状況を看護添書にて情報提供を行い、入院中の様子を聞き、退院時も状況把握する為連携をとっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については入所時に家族の意向を聞き、入所後は必要に応じ確認し、本人が一番安心、安全で穏やかに過ごせる所を相談し、支援しています。	入居時に指針を説明し、同意書を交わしている。重度化した場合はその都度、主治医が利用者と家族に状況説明し、方針を共有しながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED講習会に参加したり、スタッフ会議にて急変や事故発生時に備えての研修を行い、マニュアルをいつでも確認できる場所に置いています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定、日中想定で年に2回、消防設備の方の立会、地域住民の方の参加で避難訓練実施、今年度は地震も想定しました。災害時を想定した備蓄食体験し、避難に必要な物について職員で話し合っています。	年2回、夜間想定の下、町内会長や近隣住民が参加して避難訓練を実施している。また、設備会社による水消火器の訓練や、災害訓練も実施している。備蓄は各ユニットで確保している。	緊急連絡網を活用した訓練の実施に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ユマニチュードを実践し、尊厳ある対応に努めています。入浴や排泄時の対応にプライバシーの保護、言葉掛けにも気をつけています	扉の開閉やトイレの声かけ、呼称等、利用者のプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている。また、接遇マニュアルを整備し、会議の中で読んだり回覧したりして周知を図っている。そして、年3回介護相談員を受け入れている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的な会話を多くするよう心掛け、ご本人の思いを聞き出したり、寄り添い過ごす事で感じるようにしています。利用者様が自己決定できるような声かけに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常のリズムの中で、利用者様一人ひとりのペースに合った生活をしていただけるように希望を聞きながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧、身だしなみ、おしゃれについての声かけをし、誉め言葉を添えるようにしています。ご家族と美容院に行かれたり、出張理美容によりGHでカットをされています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と職員がみんなで一緒に食事作りをする日を決め、できるところを支援しながら作っています。出来ることを生き生きとされる姿を見るのが楽しみになっています。外食も楽しみのひとつです。	利用者の意見を取り入れながら、その日の担当職員が手作りしている。また、誕生日には利用者に食べたい物を聞いてメニューに反映している。そして、各ユニットごとで外食支援にも取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた季節の献立にしています。一人ひとりにあった食事形態、量を配慮しています。水分量にも気をつけ、摂取しにくい方には好きな飲み物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりにあった口腔ケアが習慣になっています。できていないところは声かけ、仕上げ磨きの介助し、口腔内の清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様一人ひとりの排泄パターンにあった声かけ誘導を行い、排尿排便状態を記録し、トイレでの排泄が継続できるよう自立支援を行っています。全員トイレを使用しています	排泄チェック表により、個々の排泄パターンを把握している。日中はトイレ誘導、夜間はオシメやポータブルトイレなど、各利用者の排泄パターンに合わせて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日1500cc以上の水分摂取を促し、毎朝牛乳！10時のお茶の時間にはオリゴ糖、食物繊維、オリブオイルヨーグルトを使用し、下剤を使用しないように便秘を予防、体操と乳製品・野菜・肉・魚のバランスを考え提供しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お風呂が楽しみな方が多く、入るのが面倒と言われる方も入ると「気持ち良かった」と笑顔を見せて下さいます。できない所はさりげなく介助しています。お風呂で一緒に歌を歌うなど楽しい入浴を心掛けています。	1日おきの入浴を基本としているが、利用者が希望すれば毎日でも入浴可能である。また、利用者の状態に合わせて足浴や清拭にも対応している。入浴しない時は、日時や順番、職員を変えて対応している。ゆず湯などの季節湯も楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で本を読まれる方、ホールでテレビを観られる方、利用者同士で会話される方々など、自由に過ごされています。就寝前は落ち着かれる様、個々にあった対応に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局と連携し服薬管理しています。処方内容を薬品カードで確認し、服薬忘れの無いよう習慣化出来ています。状態の変化に応じ主治医へ報告、相談し対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作り・草取り・洗濯干し・洗濯たみ・モップ掛け・チラシで箱折り・など、感謝の意を表し達成感ややりがいを持ってよう支援しています。昔話や歌、新聞、読書などで笑顔がみられます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩、庭で体操やレクリエーション、北館との交流をしています。桜、牡丹、あじさいなど季節の花を見に行ったり、祭りや運動会、図書館、ショッピング、外食など楽しんでいます。ご家族と外食やショッピングを楽しまれている方もおられます。	日中散歩に出かけたり、庭で体操したりするなど、外に出て身体を動かす機会を設けている。また、テラスで昼食を食べたり、庭でそうめん流しをしたりして楽しんでいる。年1回、地元のデパートへ紙芝居や本を借りに出かけている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者一人ひとりの認知症の症状と、理解度の状況に合った対応を心掛け、ご本人、ご家族の希望に添えるようにしています。トラブルにならないように配慮しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族との電話の取り次ぎをしています。笑顔でお話しをされています。携帯電話を持ち込まれ、着信時取り次ぎ支援し、居室で使用している方もおられます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るいうリビングで利用者同士がおしゃべりをしたり、新聞や読書、ゆっくりテレビを落ち着いてみて過ごしておられます。テレビでインターネットの昔の歌番組を口ずさんで観ている方もおられます。季節の飾りを利用者で作ったり、壁の飾りや花を飾ることで季節感を出しています。	事業所内は不快な匂いも無く、清潔感に溢れており、庭先で採った花を飾ったり、季節の飾り(お雛等)を掲示したりして、季節感を演出している。また、利用者が会話を楽しんだり、ゆっくり過ごしたりすることが出来る空間作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂やホールでいつもの場所があり、利用者同士が和やかに会話などされています。時に居室で横になったり、読書される方もおられます。職員が絶えず気配りをして落ち着いて過ごせるように配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具、道具を利用者、ご家族が持参された物を置いています。ベッドや家具の配置も使いやすく安全に配慮しています。	趣味の物(裁縫道具など)を持ち込んだり、馴染みの家族写真や自作のぬり絵作品などを飾ったりするなど、その人らしい居室となっている。また、使い慣れた毛布やタンス等も持参しており、家族と相談しながら安全に過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所・事務所・リビングから居室やトイレが見渡せ、わかりやすく位置しています。利用者の動きは把握でき、ホール内を自由に動かれています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390300048		
法人名	社会福祉法人 鶯園		
事業所名	グループホーム 津山 (北館)		
所在地	岡山県津山市小田中138-1		
自己評価作成日	平成 31 年 2 月 22 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=3390300048-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kan=true&amp;JigyosyoCd=3390300048-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	平成 31 年 3 月 12 日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達のホームの特徴として、利用者様9名と職員(5名)全員で1か月に1回外出行事を行っています。当番の職員は四季折々の風景や地域の行事を見ていただく、又美味しい物を食べていただく頭をひねって計画を立てております。春は桜・牡丹・あじさい、夏はお涼み、秋はだんじり祭り、冬は外出難しい為、ホームでクリスマス、お正月等の行事を楽しんでおります。そして、一番大きな行事として、南北合同の敬老会です。ご家族全員参加していただき、長寿の祝い、お食事会、催し物として踊りやゲーム、歌を行い利用者様とご家族とのふれあいを通して笑顔を見せていただける事が、職員にとって喜びであり、仕事への力をもらっております。このほかにもボランティアの方達(語りホウの皆様、小・中・高・大学生)との交流も利用者様にとって元気の源のように感じます。ホームの生活が少しでも楽しいものになるよう職員一同頑張っております。  
ぜひグループホーム津山へお越し下さいませ

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

玄関を開けると温かい雰囲気の中、季節飾りや行事写真などが出迎えてくれており、心が和む生活空間となっている。また、不快な臭いも無く清潔感があり職員も明るくて笑顔が多く、利用者が生き生きとメリハリのある生活が送れるように支援している。そして、ほどいた着物を再利用してお雑様の服を作ったり、テーブルクロスにするなど、個々の残存機能を生かしながら各利用者の生活習慣に合わせて支援することで、作品意欲の向上や自信に繋がっている。各居室の入り口の壁面にはブッシュ式のライトが付けられており、避難訓練の際、点灯の有無で避難できたかどうか確認できる様に工夫している。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホールに掲げた3つの理念「家庭的で安心な生活」「健康維持向上」「ご家族と利用者との良きパイプ役」を頭に入れ職員全員日々のケアを行っています	いつでも職員が確認できる様、事務所・玄関・ホールに理念を掲示している。また、ユニットごとに行う会議の中で、振り返ったり触れたりしながら、全職員で共有し実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などで出会った方と挨拶を交わし、施設内の避難訓練に地域の方に参加して頂いている また、小学校・幼稚園との交流 八幡宮のお祭りやお涼みに参加させて頂いています	語りや踊りのボランティアが来たり、幼稚園や小学校の園児や子供たちと触れ合ったり、中学生の職場体験や書道パフォーマンスを受け入れたりするなど、地域と密に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小6年生との毎年の交流会をする前に担任の先生から認知症について理解を深めて頂きそれを持ち帰り生徒との勉強会をした上でクラスをグループ分けして利用者様1名に3・4人が紙芝居やゲーム手遊びなどその方にあった物を考えて下さり楽しい時間を過ごしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月に1回市役所・地域の方・ご家族に出席して頂き 日々の活動報告した後 ご意見を聞かせて頂き その結果を職員に伝えサービス向上に努めています	2ヶ月に1回、市役所・町内会長・民生委員・保育園の園長・家族等が参加して、行事案内や地域情報等について話し合っている。出た意見は、敷地入口の砂利舗装や風呂の温風機設置等に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市の担当者の方へ出席して頂き 情報交換しております とても地域の現状がわかり役にたっています	各ユニットの管理者が中心となり、市と連携を図っている。更新時にはその都度出向き、取り組み状況等を伝える。また、市主催の研修会や勉強会には積極的に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません(施錠もしていません)	身体拘束に関わるマニュアルを整備し、月1回、スタッフ会議の中で勉強会を実施している。職員間で注意し合いながら、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングで職員同士で話し合い勉強しています研修があれば参加しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前 市で後見制度の研修があり参加しました 昨年9月まで何年も利用されている方がおられた為 関係者の方とお話し理解を深めておりました 現在はそこから入所状況の問い合わせがあります		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時に契約書・重要事項説明書にて内容をご理解頂けるように説明し 同意を頂いております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口の設置やご意見ご要望書の設置を行っています 利用者様・ご家族の方は直接職員へ要望等を言われております 内容は職員全員に伝え要望に対処しています	日常会話や家族面会、運営推進会議等を通じて、意見や要望を聞き取っている。出た意見等は、敷地入口の砂利舗装などに反映している。また、ミーティングで話し合い、職員間で共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り時や毎月のミーティングで話し合いを行い 取り組んでいます	面談は特に行っていないが、管理者と気軽に話せる関係が築けている。また、休みの希望等は申し送りノートで共有し、本部に伝えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員はミーティング等で意見を出し合った結果を法人幹部に報・連・相を行い 就業環境の改善に努めております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外の研修参加・ミーティングでの研修報告を兼ね 勉強会を行っています 以前は法人本部の行っているスキルアップ研修に参加し レベルアップできるようにしていました また 次年度より参加をお願いしようと考えております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会等の研修に参加させて頂き 交流・資質の向上に努めております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時 ご家族から生活歴を聴き マッピングシートを使って職員全員で ご本人の生活習慣・行動を色々な面から見せて頂き ご本人が今の生活になじむように支援しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の面接時に家族から話しを伺っておき その後入所時に詳しくお聴きしてこれからどのようにしていくか一緒に考えその都度電話やホームで会って問題を解決してまいります職員だけでは解決しない場合はその専門の方に相談しております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用申し込みの見学に来られた方で GHでの生活が難しいと思われるような方には 他の施設への情報提供を行っております		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の生活習慣を理解した上で日常生活でできることを職員と共に行っています(レクで食事作り 花壇の花植え 買い物等)		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	話し合いの中から家族が行える支援をケアプランに明記し 共に支える体制を築いています(誕生日会 敬老会等の行事に参加して頂いております) また ご家族が問題提議される方には一緒に考えております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会・家族と共に外出して頂き昔行っていたお店等にも連れて行って頂いております(ご家族が町内会の会合と一緒に参加される方もおられます 転ばん体操・新年会・忘年会)	家族と一緒に馴染みの美容院や行きつけの食事処に出かけたり、外出行事の際に自宅近くをドライブしたりするなど、馴染みの関係が途切れない様に支援している。また、近所の友人や幼馴染等が来訪した時はゆっくりと話が出来る機会を作っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	重度化した利用者様だけが孤立しないように職員が間に入り支援しています また利用者様同士の相性を考え席を決めて お互い協力し合えるような雰囲気作りに努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居先には看護添書にて情報提供を行い、次に入所された施設・病院には時々面会に行き、ご様子を見せて頂いております。ご家族も喜んで下さっております。退所されてもご家族が相談やご本人と一緒に遊びに来られる方もおられます		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様に寄り添いその方に合った声掛けを行い、一人ひとりの意向に添えるように努力しております。職員が皆様の中に入り会話の橋渡しをし、場を盛り立て楽しく日々を過ごせるよう支援しています	日常生活の中で声をかけたり、個別対応時に話を聞く時間を設けたりしながら、希望や意向を把握している。また、家族から得た情報なども参考にしながら利用者本位に検討している。困難な場合は、表情やしぐさ等から把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面接で生活歴・生活状況の聞き取りや入所後のマッピングシートにて把握に努めています。しかし中には入所面接時、利用者様の子供(姉妹)のひとりが生活歴は聴かないで下さいと言われる方もおられました		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン実績表や介護経過・毎日のバイタルチェックの記入を通して利用者様の状態を把握しその方のペースで日々過ごして頂いております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン更新の際にはモニタリングにて現行プランの見直しを行いケアカンファレンスを開き、関係者の意見をきいています。	スタッフ会議の中で個別にカンファレンスを行い、家族や主治医の意見も取り入れながら、ケアプランを作成している。また、半年に一回、担当職員がモニタリングを行い、変化があればその都度、見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実績表・申し送りノートで情報共有を図りながら、日々のケアに役立てています。必要に応じてカンファレンスを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様・ご家族の要望にできる限り対応するよう努めております。利用者様が楽しく過ごせるよう昼食作り・おやつ作り、また外出して食事をしたり季節の風景を体で感じて頂いております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事(祭り)・幼稚園小学校の交流・理美容ボラのご協力を頂き、ご家族からも日本舞踊を見せてあげたい。ギターを聴かせたいと言われる方にはホームのホールにて皆様に楽しんで頂いております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が月2回往診・他の医療機関受診の折は主治医より紹介状にて連携。ご家族も安心しておられます	かかりつけ医の継続は、家族の希望に合わせて対応している。協力医の他、訪問看護も受け入れており、24時間体制のもと、適切な医療を提供している。専門医への受診は基本家族対応としているが、職員が付き添うこともある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週に1回訪問看護を受けている。日々の体調を伝え相談援助をして頂いています。私達介護者にはわからない部分もある為、気をつけることや主治医に伝えることにより利用者様の健康管理に努めています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は看護添書にて情報提供を行い、随時、連絡を取り合っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	歩行困難や経口摂取困難などホームでの生活の限界を契約時に説明し、重度化が予想される場合など随時、意向を確認しています。寝たきりになった場合でも対応できる系列施設があるので、重度化した場合に希望があれば紹介を行っています	入居時に指針を説明し、同意書を交わしている。重度化した場合はその都度、主治医が利用者と家族に状況説明し、方針を共有しながら支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の研修に参加している(新人職員を必須)救命救急の本を用意し各自自主学习している。昨年は法人本部の研修に参加いたしました。次年度は消防署に研修に行くことも考えております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は年2回夜間日中想定で消防署の指導・消防設備の方の立ち合いの元行っております。また、地域住民の方も参加協力して頂いております	年2回、夜間想定の下、町内会長や近隣住民が参加して避難訓練を実施している。また、設備会社による水消火器の訓練や、災害訓練も実施している。備蓄は各ユニットで確保している。	緊急連絡網を活用した訓練の実施に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入る際は、必ず利用者様の了承を得ています トイレ誘導時にも配慮を行っております	扉の開閉やトイレの声かけ、呼称等、利用者のプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている。また、接遇マニュアルを整備し、会議の中で読んだり回覧したりして周知を図っている。そして、年3回介護相談員を受け入れている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とのコミュニケーションを図り、自己決定して頂いています また、表情・行動などで利用者様の意志を読み取るようにも心がけております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課の流れはありますが、それにとらわれず各一人ひとりのペースに合った生活をして頂けるよう配慮しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類を選択して頂けるよう声かけや支援をしております 朝の身支度時には髪を整えお顔の手入れなど声かけ支援もしております 個性を活かす工夫もしております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は各自に合った形態で提供しております 四季折々にケーキやお鍋・ぼた餅風・かき氷等利用者様と作って楽しく過ごしています できる方にはお盆拭き・テーブル拭きを手伝ってもらっております	利用者の意見を取り入れながら、その日の担当職員が手作りしている。また、誕生日には利用者に食べたい物を聞いてメニューに反映している。そして、各ユニットごとで外食支援にも取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を毎日チェック・体重管理し 増減にも注意している 現在水分の全く摂れない方はいません 以前はお茶白湯嫌い甘いのが好きという方には甘茶飲んで頂き最後は普通のお茶を飲むようになりました		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い 介助が必要な方は職員と一緒にやっている 現在夜間寝ている時居室内が口臭でひどい方おられDrに相談漢方の方がいいをしたり市販のうがい薬を使用したりとやっている所です		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを職員が把握し排泄誘導 職員間で話し合い 何ができて何ができないかを考え 布パンツ・はくパンツ・パット等 また 日中・夜間はどのようにしたらよいか色々と考えながら支援しております	排泄チェック表により、個々の排泄パターンを把握している。日中はトイレ誘導、夜間はオシメやポータブルトイレなど、各利用者の排泄パターンに合わせて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日1300cc以上の水分 毎朝牛乳とヨーグルト・オリゴ糖を提供 野菜中心に肉・魚を提供 何年もオリゴ糖とヨーグルトで便秘解消していたが 最近入所された方頑固な便秘症の為下剤を使用することにしました		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の状態を把握して入って頂く。9名を4名・5名に分け一日おきに入浴して頂いています 介助者が洗身しながらお話し 湯船にゆっくり入って頂きます(毎日体や皮膚に負担がかかる為)	1日おきの入浴を基本としているが、利用者が希望すれば毎日でも入浴可能である。また、利用者の状態に合わせて足浴や清拭にも対応している。入浴しない時は、日時や順番、職員を変えて対応している。ゆず湯などの季節湯も楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室完備のためご自分のペースにあった生活をして頂いております 休みたい時は休んで頂き日中居室に入りたくない方は共同スペースで自由に過ごされております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の仕分けや管理は契約している薬局で行う 主治医へは、状態変化に応じ連絡し指示をあおぐ 服薬を間違えないように名前の貼った薬用コップと薬を持ち本人と確認した上で服用して頂いております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様やご家族からお話しをお聞きしたことをもとに喜んで頂けるよう掃除や洗濯干し・たたみ 食事作り・外出外食等日々を通して支援しております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	以前は歩行訓練で散歩を道路に出て歩いていたが 現在外を歩きたいという方がいなくなり今はテラスを歩行しています 天候のよい日はテラスでお弁当を食したり毎月1回全員で外出し外食や季節折々の風景地域の行事祭り等の参加の支援しております	日中散歩に出かけたり、庭で体操したりするなど、外に出て身体を動かす機会を設けている。また、テラスで昼食を食べたり、庭でそうめん流しをしたりして楽しんでいる。年1回、地元のデパートへ紙芝居や本を借りに出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	3万円以下のお金を預かり金として事務所にお預かり外出時に利用者様のほしい物があればそのお金をお渡ししてご本人と一緒に職員が付添買って頂いております(外出時の食事代は施設側の支払いです)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員がご家族からかかってきた電話の取り次ぎを行っています また 利用者様が電話をかけてほしいと言われた時には、お電話をかけてお話をさせて頂いております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静かな場所に建てられている施設なので、落ち着いて暮らしております ホールには季節の花を飾ったり季節感を出す工夫をし 身体全体で感じる事が出来るようにしております	事業所内は不快な匂いも無く、清潔感に溢れており、庭先で採った花を飾ったり、季節の飾り(お雛等)を掲示したりして、季節感を演出している。また、利用者が会話を楽しんだり、ゆっくり過ごしたりすることが出来る空間作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の気が合った方は、居室を訪問したり、ソファやテーブル席でお話をされております。時々喧嘩をされることもありますが、その時には職員が中に入り仲介役をすることもあります		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に置く家具等は、各自使い慣れた物を持参されております	趣味の物(裁縫道具など)を持ち込んだり、馴染みの家族写真や自作のぬり絵作品などを飾ったりするなど、その人らしい居室となっている。また、使い慣れた毛布やタンス等も持参しており、家族と相談しながら安全に過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	便所や浴室は解りやすく表示しています。テーブル席は利用者様のお名前を付けてわかるようにしています また 居室のわからなくなる方には戸口に大きく名前をつけさせてもらっております		